

小学校第5学年 体育科 学習指導案

期 日 平成25年10月23日(水) 第5校時

場 所 山鹿市立山鹿小学校 運動場

指導者 教諭 豊永 千速

1 単元名

「ティーボール(ボール運動:ベースボール型)」

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、二つのチームが攻撃と守備を交替で行い、ティー上にあるボールをバットで打ち、ベースを回って得点を入れたり、相手の得点を防いだりして競い合うことに、楽しさや喜びを味わうことができる運動である。ボールを捕ったり投げたり、バットでボールを打つ技能習得には多くの時間が必要であるが、ルールや場などを工夫することで、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、ゲームを楽しむこともできる。

(2) 系統観

学年	小学校1・2年生	小学校3・4年生	小学校5・6年生
領域	ゲーム	ゲーム	ボール運動
内容及び構成	ア ボールゲーム ○ボール遊び ○ボール投げゲーム ○ボール蹴りゲーム イ 鬼遊び ○一人鬼、二人組鬼 ○宝取り鬼、ボール運び鬼	ウ ベースボール型ゲーム ○攻撃側がボールを蹴って行うゲーム ○手やラケットなどでボールを打ったり、止まったボールを打ったりして行うゲーム	ウ ベースボール型 ○ソフトボール ○ティーボール

(3) 児童観(本単元に係る児童の実態 男子22人、女子14人、計36人)

○情意面に関する実態

【体育は好きですか?】

とても好き18人 少し好き14人 あまり好きではない1人 好きではない3人

【体育は得意ですか?】

とても得意10人 少し得意16人 あまり得意ではない6人 得意ではない3人

【ボールを使ったゲームは好きですか?】

とても好き22人 少し好き7人 あまり好きではない5人 好きではない2人

【ボールを使ったゲームは得意ですか?】

とても得意13人 少し得意10人 あまり得意ではない10人 得意ではない3人

○学び方に関する実態

【体育では、どうしたらうまくできるか考えますか?】

とても考える14人 少し考える17人 あまり考えない4人 考えない1人

【体育では、上手な友達をまねしますか?】

とてもまねする3人 少しまねする25人 あまりまねしない6人 まねしない2人

【体育では、友達に教えたりしますか?】

とても教える2人 少し教える12人 あまり教えない15人 教えない7人

【体育では、分からないことを友達や先生に聞きますか?】

とても聞く11人 少し聞く16人 あまり聞かない5人 聞かない4人

○運動経験の実態

これまでボール運動ベースボール型の学習を、中学年では「ハンドベースボール」で経験している。児童が好きなボールを使ったゲームは、多い順に「ドッジボール」「サッカー」である。野球部に加入している児

童は2人いる。これらの児童はベースボール型の技能は高いが、その他の児童特に女子児童は、ボールを捕ったり投げたり、バットでボールを打つなどの経験はほとんどない。

休み時間や昼休みなどに、校庭で男女仲よく遊ぶ姿が見られるが、外遊びの頻度には男女共通して個人差が大きい。3人の女子児童が体を動かすことや運動に抵抗感を持っている。

意識調査では、体育の学習を意欲的に行う児童が多く、体育の学習を好む児童がほとんどである。しかし、「当たると痛い」「キャッチできない」「ボールをうまく投げることができない」という理由から、ボールを使ったゲームに苦手意識を持つ児童が見られる。苦手意識を解消するために、教具や場の工夫、グループでの教え合いなどを行っていきたい。

○体力テストからの実態

種目		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ボール投げ (m)
男子平均	学級	16.8	20.0	33.1	39.7	48.9	9.97	146.0	21.0
	県	16.7	19.2	32.2	42.6	56.0	9.33	151.5	24.2
女子平均	学級	16.1	19.8	37.1	40.6	53.6	9.76	143.0	14.0
	県	16.2	17.7	35.9	40.4	44.8	9.60	142.9	14.3

男女共通で、上体起こし、長座体前屈で県平均を上回っている。

(4) 指導観

- 第1時オリエンテーションで、学習のねらいや進め方を示し、児童に見通しを持たせるとともに、学習のきまり、安全確認について指導する。
- 学習1では、基礎的・基本的な技能を習得するためのゲーム（基礎技能向上タイム・ドリルタイム）を設定し、ボールを捕る・投げる・打つ・走ることを習得できるようにする。
- 学習2では、コートやルールに条件を付けたゲーム（課題設定ゲーム・タスクゲーム）によって、チームで簡単な攻め方や守り方を決めて、身に付けた技能を活用し、ベースボール型の攻撃や守備の動きを理解できるようにする。
- 学び方（安全面、きまり等）については、毎時間のはじめに知らせ徹底を図る。
- 毎時間のまとめでは、よい動きをしていた児童を紹介し、基礎的・基本的な動きのポイントを確認する。また、攻撃や守備の仕方を工夫し作戦を考えていたチームを紹介するとともに、思考・判断の評価を行う。
- 学習班（チーム）の編成は、男女混合の6チームをつくる。
- 児童同士の教え合い学習が充実するように、動きのポイントや作戦の工夫のヒントとなる言葉を整理し、ボードにまとめていく。
- 本学習では、指導と評価の一体化を図るために次の評価活動を行う。
 診断的評価:事前のアンケートにより児童一人一人の実態を把握し、事後のアンケートで変容を評価する。
 学習シートを活用し、毎時間の自己評価・相互評価が的確に行えるように、評価の視点を明確に示す。

【視点1】 思考力・判断力・表現力等の育成	【視点2】 学習評価と指導の改善	【視点3】 情報活用能力の育成
【視点1】 本単元では、高めたい思考力・判断力・表現力等を、攻撃や守備の仕方を工夫したゲーム中の声かけの様子ととらえる。児童がゲーム中に考え判断したことを、チームメイトへ声かけすることで、基礎的・基本的な個人技能を活用しながら、豊かなかかわり合いのある授業を目指す。	【視点2】 本単元では、チームの作戦と個人の役割のつながりを記録として残す活動で、児童の思考の過程を評価できる授業を目指す。その際、プレイの成否にかかわらず、自分のねらいや意図を書く活動を重視し、前回までの自分のプレイと比較・関連付けした表現を意識させる。	【視点3】 本単元では、勝敗を左右する得点に関する情報を、図や数値などで示すことで、主体的な情報活用を促す授業を目指す。また、児童が情報の収集もできるようにするために、視覚的に分かりやすいデジタルコンテンツや記録シートなどの教材教具の工夫を行っていく。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	<p>(1) 簡易化されたゲームで、ボールを打ち返す攻撃や隊形をとった守備によって、攻防をすることができるようになる。(技能)</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。(態度)</p> <p>(3) ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。(思考・判断)</p>
運動への 関心・意欲・態度	<p>①集団対集団で競い合うための練習やゲームに進んで取り組もうとしている。</p> <p>②用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</p> <p>③用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</p> <p>④ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。</p>
運動についての 思考・判断	<p>①ティーボールのゲームの行い方を知っている。</p> <p>②効果的な攻め方を知り、選んでいる。</p> <p>③効果的な守り方を知り、選んでいる。</p> <p>④プレイ上の制限や得点の仕方などのルールを選んでいる。</p>
運動の技能	<p>①止まったボールをバットでフェアグラウンド内に打つことができる。</p> <p>②打球方向に移動し、捕球することができる。</p>

4 指導・評価の計画（8時間取扱い 本時4／8）

次時	1	2		3		
	1	2～4（本時4）	5～7	8		
学習活動	<p>○学習のねらいや進め方を知る。</p> <p>○学習のルールやグループを決める。</p> <p>○試しの運動をする。</p>	<p>○集合、あいさつ ○協力して場づくりをする。○準備運動をする。 ○学習の進め方とめあてを確認する。</p>		<p>○5の1ワールドベースボール大会をする。</p>		
	<p>○学習の振り返りをする。</p> <p>○整理運動をする。</p>	<p>○学習1の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームでのキャッチボールゲーム ・チームでのバッティングゲーム 等 <p>【ドリルタイム】</p> <p>○学習2の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻撃はフィールド外ベース ・守備は集まりアウト 等 <p>【タスクゲーム】</p>	<p>○学習1の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム対抗のキャッチボールゲーム ・チーム対抗のバッティングゲーム 等 <p>【ドリルタイム】</p> <p>○学習2の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻撃はフィールド内ベース ・守備はベースアウト 等 <p>【タスクゲーム】</p>		<p>○学習のまとめをする。</p> <p>○整理運動、後片付けをする。</p>	
指導上の留意点 【3つの視点から】	<p>・児童と一緒に学習計画を立て、主体的な学習活動ができるようにする。</p> <p>【視点1】自分で考えた動きの工夫を伝え合わせる。</p>	<p>・本時の学習の見通しを持たせ、安全に進めていくためのきまりを確認する。</p> <p>・場づくりを安全に、素早く、協力して行うよう助言する。・準備運動では、ケガをしやすい部位を十分に行っているか観察する。</p>		<p>・みんなが楽しめる大会になるよう、プレイ上の制限や得点の方法を選ばせる。</p> <p>・自分やチームの変容を言葉で交流させる。</p> <p>【視点1】自分たちが考えた攻撃や守備の工夫を伝え合わせる。</p> <p>【視点2】攻撃や守備での自分のねらいと意図を書く活動を設定する。</p>		
		<p>・学習1で、よい児童の動きから攻撃や守備につながる個人の動きのポイントを示す。</p> <p>・学習2で、よいチームの動きから攻撃と守備の学習課題を示す。</p> <p>・自分やチームのがんばりを言葉で交流させる。</p> <p>【視点1】作戦や動き方を工夫できるよう作戦タイムを設ける。</p> <p>【視点2】バッティング終了後に自分のねらいと意図を書く活動を設定する。</p> <p>【視点3】作戦ボードを活用し、グラウンドや相手チームの守備位置を視覚的につかませる。</p>	<p>・学習1で、よいチームの動きから、ゲームの攻撃や守備につながる個人の動きのポイントを示す。</p> <p>・学習2で、よいチームの動きから攻撃と守備の学習課題を示す。</p> <p>・自分やチームのがんばりを言葉で交流させる。</p> <p>【視点1】作戦や動き方を確認できるようコーチングタイムを設ける。</p> <p>【視点2】バッティング終了後に自分のねらいと意図を書く活動を設定する。</p> <p>【視点3】スコアボードを活用し、相手チームの特徴や作戦を視覚的につかませる。</p>			
評価の観点（評価方法） B基準	<p>関心・意欲・態度①（観察、シート） 集団対集団で競い合うための練習やゲームに進んで取り組もうとしている。</p>	<p>関心・意欲・態度②（観察） 用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</p>		<p>関心・意欲・③（観察、シート） 用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</p>		<p>関心・意欲・態度④（観察、シート） ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。</p>
			<p>思考・判断①（観察・シート） ティーボールのゲームの行い方を知っている。</p>		<p>思考・判断②（観察・シート） 効果的な攻め方を知り、選んでいる。</p>	<p>思考・判断③（観察・シート） 効果的な守り方を知り、選んでいる。</p>
			<p>技能①（観察・シート） 止まったボールをバットでフェアグラウンド内に打つことができる。</p>		<p>技能②（観察・シート） 打球方向に移動し、捕球することができる。</p>	

5 本時の学習

(1) 目標

- 止まったボールをバットでフェアグラウンド内に打つことができるようにする。 (技能)
 - 用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 (態度)
 - ティーボールのゲームの行い方を知っている。 (思考・判断)
- ※本時では、運動の技能を主として評価する。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 【三つの視点から】	備考
導入 5分	1 準備・場づくり。 2 集合、あいさつ。 3 準備運動をする。 4 学習のめあてやルールを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> チームで攻め方や守り方を工夫して、ティーボールのゲームを楽しもう。 </div>	○自分の役割を果たしましょう。 ○新しいルールは何でしたか。 ○前はどんな攻撃で得点が入ったか振り返りましょう。	○場や用具の安全を確認する。 ○しっかり行われているか観察し、助言する。 ○これまでの得点場面や成績を整理掲示する。 ○ルールを守って友達と助け合って学習することを意識させる。	ベース ボール ティー バット 得点板 学習ボード 学習評価表
展開 35分	5 学習1 基礎技能 向上タイムをする。 【キャッチボールゲーム】 【バッティングゲーム】 6 学習2 課題設定 ゲームをする 【攻撃：フィールド外ベース】 【守備：集まりアウト】 作戦タイム ゲーム①：10分 前半2イニング 作戦タイム <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【言語活動】 ゲーム①の課題を基に、各個人の改善点を出し合わせ、ゲーム②での実践化につなげる。 </div> ゲーム②：10分 後半2イニング	○どんなボールが味方が捕りやすいですか。 ○打つ時のポイントを出し出してみよう。 ○これまでどんな作戦（打ち方・守り方）があったかな。 ○新しい作戦（打ち方・守り方）を見付けてみよう。 ○Aチームの作戦はすごいな、やってみよう。 【学習課題を示す】 ○友達のよい動きを見付けましょう。 ○得点やアウトのルールを守りましょう。 ○ねらったバッティングができるために積極的に友達に声をかけよう。	○ルールを確認して、みんなが楽しく活動できるようにする。 ○よい児童の動きを積極的に賞賛する。 ○ゲーム①の後、気付きを発表させ動きのポイントを確認してからゲーム②を行う。 ○児童が考えた作戦や動き方をボードに整理して示す。 【視点1】作戦タイムを設定し、チームで作戦や動き方を工夫できるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 評価：技能①（観察シート） B基準止まったボールをバットでフェアグラウンド内に打つことができる。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> A基準止まったボールをバットでねらったフェアグラウンド内に打つことができる。 〈B基準に達しない児童への手立て〉 自分に合ったティーの高さと構える位置を確認させる。 </div> 【視点2】バッティング終了後、自分のねらいと意図を記録ボードに書かせる。 ○攻撃チームのスコアシート記録など児童の役割分担を明確にする。	備ボード スコアシート
整理 5分	7 整理運動をする。 8 学習の振り返りをする。 9 後片付けをする。	○ケガがないか確かめながら行いましょう。 ○教え合いでよかったこと、チームでよかったことを紹介しよう。 ○全員で協力して、素早く行いましょう。	○ケガがないか確認する。 ○友達のよさやがんばりに気付かせ、言葉で交流する。 ○作戦を工夫したチームを紹介し、動き方のポイントを確認する。 ○最後まで協力して安全に行われているか観察し、助言する。	学習シート